

令和 7 年度第 3 回外部評価委員会  
年次事業・事務事業評価シート

八潮市立八條図書館・八條公民館  
年次事業評価シート

## 年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

### 【施設の概要】

所管課名	社会教育課		
施設名	八潮市立八條図書館及び八條公民館		
施設所在地	八潮市八條2753番地46		
設置の目的	社会教育法及び図書館法の規定に基づく目標を達成するため		
指定管理者	ヤオキン商事株式会社		
指定期間	令和5年4月1日	～	令和10年3月31日
評価期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日
指定管理者に求めるもの	(1) 専門的人材の確保や効率的な人材配置など合理的な人的資源の整備 (2) 事業経営の合理化等による経費節減 (3) 民間のノウハウを活かした事業展開		

### 【指定管理者が行う主な業務の内容】

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保存、図書及び雑誌の貸出等の業務  
 (2) 公民館の利用の許可、定期講座の開設等の業務  
 (3) 八條図書館・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務

### 【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	令和5年度	令和6年度	比較(R6-R5)
収入(円)	管理料	—	75,569,000	76,764,500	1,195,500
	利用料金収入	—			0
	前年度繰越金	—			0
	その他 講座材料費等	—	21,050	119,500	98,450
収入合計(円)		0	75,590,050	76,884,000	1,293,950
支出(円)	運営費	26,588,858	22,764,733	23,379,126	614,393
	人件費	41,127,676	46,254,134	46,801,787	547,653
	維持管理費	9,184,298	5,682,542	6,194,134	511,592
	その他	—			0
支出合計(円)		—	74,701,409	76,375,047	1,673,638
収支(円)		—	888,641	508,953	▲ 379,688

※詳細は別添「自己評価表」参照

※直営最終年度は平成24年度

※直営最終年度の金額は、現在、指定管理者によって行われている業務内容と異なるため参考値（情報提供事業全体を2館で割ったもの）

### 【施設の利用状況】

	令和5年度	令和6年度	比較(R6-R5)
図書館開館日数(日)	300	292	▲ 8
公民館開館日数(日)	308	307	▲ 1
図書館来館者数(人)	92,286	89,009	▲ 3,277
公民館平均稼働率(%)	21	25	4

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】（事務事業評価から引用）

	単位		令和5年度	令和6年度
学校への出前おはなし会 （八幡図書館分含む）	回	計画	36	36
		実績	68（八條30、八幡38）	58（八條25、八幡33）
教室・講座の数 （八幡公民館分含む）	件	計画	35	35
		実績	38（八條15、八幡23）	51（八條26、八幡25）

【成果指標】（事務事業評価から引用）

	単位		令和5年度	令和6年度
学校における活動の参加人数 （八幡図書館分含む）	人	計画	1,080	1,080
		実績	1,750（八條667、八幡1,083）	1,424（八條461、八幡963）
教室・講座の受講者数 （八幡公民館分含む）	人	計画	1,200	1,200
		実績	1,720（八條1,061、八幡659）	3,527（八條2,910、八幡617）

【利用者満足度調査結果】（抜粋）

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	合計
指定管理者に対する評価（総合評価） （人）	56	65	32	1	0	154
割合（%）	36.4%	42.2%	20.8%	0.6%	0.0%	100.0%
利用者満足度指数	4					

※回収枚数は170件であったが、「無回答」が16件あった。

【サービスの向上】（指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述）

独自の広報紙「コネクト」の発行や地域住民が交流を促進できる「図書館まつり」、「科学フェスタ」等の新規事業を行った。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等を特記事項に記入する。

業務履行内容		評価項目	評価方法	確認結果 (具体的な確認事項、根拠)		評価	特記事項 現地確認事項		
<b>①開館時間</b>									
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られているか	開館日数、時間数が守られているか	開館日数、時間数が守られているか関係書類により確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館日数：図書館292日、公民館307日</li> <li>図書館は、令和6年9月30日から10月1日まで、図書館システム更新のため休館とした。それ以外についてはすべて開館している。</li> <li>開館時間：図書館9:00～19:00、公民館9:00～21:00</li> <li>職員は8:30～21:15（土日は21:05まで）の間施設に配置されている。</li> <li>八潮市立八條図書館・八條公民館 月次報告書により確認</li> </ul>				A	
<b>②管理執行体制に関する事項</b>									
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	職員の配置を就労関係書類などにより確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の人数：20人（うち正規職員6人、臨時職員14人、うち司書6人、社会教育士4人）</li> <li>（令和7年4月1日時点）</li> <li>職員について国の基準等はない</li> <li>職員が病欠をした場合でも、他の職員が対応できるようなシフトを組んでいる。</li> <li>職員配置表により確認。</li> </ul>				A	
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担表に基づいて業務を行っている。</li> <li>重要書類の作成などにおいては、必ず二重三重のチェックを行うような仕組みとなっている。</li> </ul>				A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	法令遵守責任者へのヒアリングや、関係書類（研修の開催結果等）により確認する	法令遵守責任者へのヒアリングや、関係書類（研修の開催結果等）により確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所における職場内研修を実施している。</li> <li>消防訓練を2回実施し、16人が参加した。</li> <li>労働安全衛生及び個人情報取扱に関する研修を実施し、16人が参加した。</li> </ul>				A	
<b>③個人情報の保護</b>									
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>条例違反は確認されていない。</li> <li>図書館、公民館ともに利用者の情報を登録しているが、適切な管理・運営が行われている。</li> <li>紙媒体及び電子媒体の個人情報保護は鍵付きの棚に保管し、ファイルはパスワード管理するなど情報漏洩対策が適切に実施されている。</li> </ul>				A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する（電子媒体及び紙媒体いずれも）	作成状況及びその内容について確認する（電子媒体及び紙媒体いずれも）		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護マニュアルが整備され、適正に管理されている。</li> <li>令和4年4月にマニュアルの更新が行われており、その内容が適切であると確認した。</li> </ul>				A	
<b>④利用者への対応及びサービス等の向上</b>									
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する	関係書類等により確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度八條図書館事業計画案及び八條公民館事業計画案と月次報告書から、適切に実施されていることを確認した。</li> </ul>				A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する	関係書類等により確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>期間 令和7年1月7日～1月31日</li> <li>回答数：170件（うち無回答16件）</li> <li>利用者アンケートの結果に基づき適正な分析が行われている。</li> </ul>				A	
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する	関係書類等により確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情件数：5件</li> <li>職員の接客態度に対する苦情があったため、後日接遇の研修を行った。</li> </ul>				A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する	関係書類等により確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>随時、事業所における職場内研修を実施している。</li> <li>図書館事業に関する研修は5回8人が参加した。</li> <li>公民館事業に関する研修としては、国立教育政策研究所による社会教育主事資格取得のための講習のほか、5回6人が参加した。</li> </ul>				A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
<b>⑤利用許可業務</b>				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか 確認する	・八潮市立公民館設置及び管理条例に基づき適切に徴収されている。	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	・減免238件 ・免除対象：八潮市、八條公民館 ・減額対象：社会教育団体、福祉関係団体（50%減額）	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか 確認する	・10日毎の利用料金徴収報告により現金収納を確認している。 ・埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム（まんまるとやく）の口座振替により適正に執行されている。 ・滞納はない。	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	・八潮市立図書館設置及び管理条例、八潮市立公民館設置及び管理 条例に基づき、適切に運営されている。 ・埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム（まんまるとやく） による抽選機能で公平に利用者を選考している。	A	
<b>⑥施設設備及び物品の維持管理</b>				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の 状況について関係書類及び現状を確認する	・特定建築物、建築設備、施設内のエレベーターに法定点検の義務 があり、適切に行われている。 ・受水槽、消防設備、電気設備等についても点検が行われ、適切に 管理できている。	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認す る	・定例会、月次報告書により確認 ・大規模改修までの間の修繕箇所等について優先順位の資料を作成 し、協議した。	A	
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を 確認する	・施錠責任者を決め適切に施錠ができている。 ・警備会社と契約し、施錠後に侵入者があった場合、警備員が見回 りを行っている。	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類 により確認する	・清掃業務委託を行い、共用部と図書館全般は毎日、図書館と公民 館の細部は1日毎交互に清掃している。	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理 がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類 及び現状を確認する	・年1回、職員全員の健康診断を行っている。	A	
物品（備品）の管理は適切に行われてい るか	台帳により確認	・備品台帳により確認 ・台帳については適切に管理されている。	A	

業務履行内容		評価項目	評価方法	確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
<b>⑦経費の執行管理</b>						
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する			・こめな消灯・空調切替を行い、無駄なエネルギー消費を抑えている。	A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する			経費の執行には、上司の決裁に基づいており、体制を確保している。また、指定管理者では判断の困難な経費執行については、市と協議している。	A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する			経理内容について具体的な記載があり、明確化が図られている。	A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する			経理規程を整備している。	A	
<b>⑧その他の事項</b>						
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する			清掃業務と警備業務、その他施設管理について委託を行っている。契約書により確認。	A	
賠償保険に加入しているか	保険証券等により賠償保険の保険内容等を確認する			賠償責任保険 契約証明書により確認	A	

**【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】**

**(1)指定管理者自己評価**

運営も2年目に入り、図書館・公民館共に安定した運営を行っています。講座や事業数も増え、来館者数や貸出数も概ね増加傾向と言えます。今年度は、システム更新での長期休館や令和7年1月28日に発生した道路の陥没による交通状況の変化があり、来館者数や貸出数などの実績に影響が出ています。道路状況については、今後の経過を見つつ、改めて来館のきっかけとなる集客イベントを行うなど、改善措置を検討してまいります。

令和7年1月に実施した利用者アンケートにおいては「満足」、「やや満足」の回答が70%を超え、前年度の65%と比較し、より良い評価をいただくことが出来ました。「不満」といった回答も0.6%と減少し、運営の向上が図れたと考えます。

上記を踏まえ、管理運営において前年度以上に利用者より評価いただきました。

**(2)業務改善に向けた分析**

**【施設管理について】**

空調設備、排煙窓、感知器、非常用放送機器、非常照明など、大規模な修繕が必要な設備については、長期的な計画として市と協議をし、進めてまいります。小規模な修繕としては、児童コーナーや会議室の床の剥がれなど、利用者の怪我に繋がりにくい箇所を中心に進める予定です。

**【図書館の運営について】**

さらなる集客、貸出数の増加を促進すべく、事業の見直しや書架のレイアウト変更等が続けていく予定です。交通事情により、子どもの図書館へのアクセスが悪いため、保護者と来館できる土日に親子で参加できる事業を公民館・図書館合わせて組んでいきたいと考えます。また、高齢者の多いエリアの為、高齢者施設への団体貸出やアウトリーチ等も検討していきます。

**【公民館の運営について】**

各講座はどちらも満足度が高いため、大きな見直しは行わず、需要の高い“健康分野”と今後の集客に欠かせない子育て世代の“親子向け講座”に力を入れていく予定です。空調設備の修繕が叶うなら、新規定期講座として歌声サロンや、体を動かす講座等の拡充を図りたいと考えています。

**【所管課所見】**

令和5年度より指定管理者がヤオキン商事株式会社に代わり、令和5年度の入館者数は105,417人であったが、令和6年度は99,427人となり、6%減となった。その理由としては図書館システムの更新による休館や施設事故による利用者の減少が考えられる。

また、利用者を対象としたアンケート結果によると、総合的な評価は「満足」及び「やや満足」で71.1%を占めており、指定管理者制度として成果があったと考えられる。

総合評価

A

令和7年度第3回外部評価委員会  
年次事業・事務事業評価シート

備蓄物資整備事業  
事務事業評価シート

事務事業評価シート(対象:R6年度実施事業)

所属コード	1502000	位置付け	総合戦略	市長公約
事務事業名	備蓄物資整備事業	実施主体	市	その他
施策の柱(章)	3 防災・防犯・消防・救急	継続年数	5年以下	16年以上
大施策(節)	1 災害に強いまちづくり	根拠法令等	有	無
基本施策	2 地域防災力の強化	事業の対象	市民の一部	内部職員
予算科目	会計 01 款 3 項 5 目	内線	804	
		事業	6	
事業目的	災害発生時に必要となる避難者、帰宅困難者及び災害対応業務従事者の食料や飲料水、生活必需品などを確保する。 ・八潮市地域防災計画における想定被災者数4,545人に対して、3日分の食料及び飲料水等を確保する。 ・八潮市備蓄計画に基づき計画的な備蓄を推進する。 ・災害対応業務従事職員等分の食料及び飲料水等の備蓄を実施する。 ・帰宅困難者への食料及び飲料水等の備蓄を実施する。			

単位:円	R5決算	R6予算	R6決算	R7予算
事業費(A)	15,623,286	11,006,000	17,291,419	28,274,000
事業費の内訳				
委員報酬				
物件費	15,623,286	11,006,000	17,291,419	28,274,000
維持補修費				
扶助費				
補助費等				
普通建設事業費				
その他				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	15,623,286	11,006,000	17,291,419	28,274,000
職員数(人/年)	0.30	0.30	0.30	0.30
職員人件費(B)	2,186,384	2,282,700	2,324,575	2,362,500
総事業費(A+B)	17,809,670	13,288,700	19,615,994	30,636,500
人件費率(B/(A+B))	12.3%	17.2%	11.9%	7.7%
予算執行率(職員人件費除く)	—	—	157.1%	—

事業の実施状況(見込み)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>八潮市備蓄計画に基づき、備蓄品を更新、整備した。(アルファ米 10,300食、飲料水(1.5L) 600本、(0.5L) 15,432本、粉ミルク 144缶、液体ミルク 96缶、流動食 162食、ガソリン缶(1L) 200缶、毛布 150枚、生理用品 7,560枚、着圧ソックス 100足、歯ブラシ 4,750本 他)</li> <li>危機管理事象等に対応するための手指消毒剤等を調達した。</li> <li>災害対策用資機材(発電機、水中ポンプ、投光器等)の機能点検、軽微な修繕、機器の調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八潮市備蓄計画に基づき、備蓄品を更新、整備した。(アルファ米 10,250食、飲料水(1.5L) 600本、(0.5L) 21,624本、粉ミルク(缶) 48缶、粉ミルク(ステイックタイプ) 560スティック、液体ミルク48缶、流動食162食、ガソリン缶(1L) 200缶、毛布120枚、生理用品7,560枚、簡易トイレ264台、洗身用具2台 他)また、八潮市備蓄計画を更新した。</li> <li>危機管理事象等に対応するための手指消毒剤等の調達した。</li> <li>災害対策用資機材(発電機、水中ポンプ、投光器等)の機能点検、軽微な修繕、機器の調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八潮市備蓄計画に基づき、備蓄品を更新、整備した。(アルファ米 15,750食、飲料水(1.5L) 6,210本、(0.5L) 600本、粉ミルク 120缶、液体ミルク48缶、流動食162食、ガソリン缶(1L) 224缶、毛布300枚、生理用品3,960枚 他)</li> <li>危機管理事象等に対応するための手指消毒剤等の調達する。</li> <li>災害対策用資機材(発電機、水中ポンプ、投光器等)の機能点検、軽微な修繕、機器の調整を行う。</li> </ul>	

活動指標名	単位	令和5年度	令和6年度
アルファ米備蓄量(年度末)	計画	45,066	45,066
	実績	46,000	55,950
	計画		
	実績		
成果指標名	単位	令和5年度	令和6年度
想定被災者及び災害対応業務従事職員等に対するアルファ米備蓄率	目標	100	100
	実績	102	124
	目標		
	実績		

■事業の評価 (R6年度の事後評価)

①必要性の評価

当該事務事業について市が関与する必要性		評価者名	神原
● A: 非常に高い	● B: 高い	● C: ある程度認められる	
■	■	■	
<p>法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがあるサービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される</p> <p>その他</p>			
判断理由			

②目標達成度の評価

R6年度の目標達成度		
● A: 達成した(100%)	● B: 概ね達成できた(80%以上)	● C: 達成できなかった(80%未満)
■	■	■
<p>活動指標の目標を達成した          業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した</p>		
達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)		

判断理由

震災による想定避難者数4,545人に対し、その3日分の食料を備蓄することを当面の目標としており、目標以上の備蓄が確保できている。

③実施内容・方法の評価

成果向上やコスト削減のための見直しの余地	
● 余地が大きい	● 余地がある
■	■
<p>民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある          事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる          業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる          社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる          成果を高める工夫が考えられる</p> <p>その他</p>	
判断理由	

④公平性の評価

i. 受益者が一部に偏っているか	
● 偏りがある	● やや偏りがある
■	■
<p>偏りが無い</p>	
ii. 受益者負担の見直しの余地	
● 余地がある	● 余地がない
■	■
<p>受益者負担がない</p>	
<p>使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる          国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している          受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている          使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している</p>	
判断理由	

■計画期間を通じた課題と対応策

評価時点で認識されている問題・課題	
● 課題はほとんどない	● ある程度課題がある
■	■
<p>大きな課題がある</p>	
<p>物資の備蓄については、災害時に円滑な提供ができるよう、避難所で保管を行うことが望ましいが、備蓄品の種類や数が増加し、避難所での備蓄場所の確保が困難になっている。</p>	
<p>考えられる対応策</p>	
<p>避難所の施設管理者と連携を図りながら、備蓄場所の確保に努めるとともに、新たな備蓄場所の確保を検討する。</p>	

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

☆☆: 順調 (最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)  
 ☆☆: 概ね順調 (最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)  
 ☆: 遅れ (このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価

☆☆☆ 順調

判断理由

八潮市地域防災計画の震災時の想定避難者数及び災害対応業務従事職員等に対し、3日分の食糧備蓄が確保されている。また、新たに必要と想定される物資の備蓄を積極的に進めている。

■今後の方向性(計画期間を通じた方向)

方向性	
● 現状のまま継続	● 休止・廃止
● 見直して継続	● 他事業と統合して継続
→ ● 重点化(拡充)	● 手段を改善
● 効率・簡素化	● その他
事業費	● 増加
労働量	● 増加
● 削減	● 削減
● 現状維持	● 現状維持
<p>今後の実施方針(改善方針)</p> <p>令和7年3月に更新した八潮市備蓄計画に基づき、備蓄品の種類、備蓄数量など計画的に備蓄を進める。</p>	